



日農

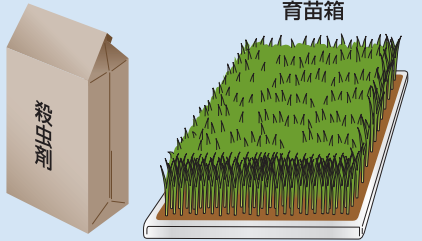
フジワン プリンス[®] 粒剤

高密度
播種
対応



鈴木さん

田植え当日に殺虫剤を
育苗箱に散布する鈴木さん



育苗箱

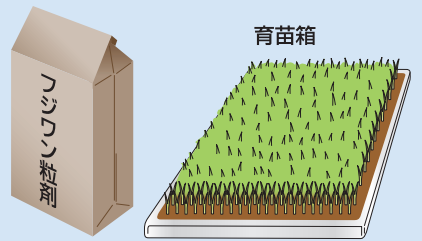
鈴木さん

®フジワンは日本農薬(株)の登録商標
®プリンスはBASF社の登録商標



鈴木さん

フジワン粒剤を苗の
緑化始期にご使用の鈴木さん



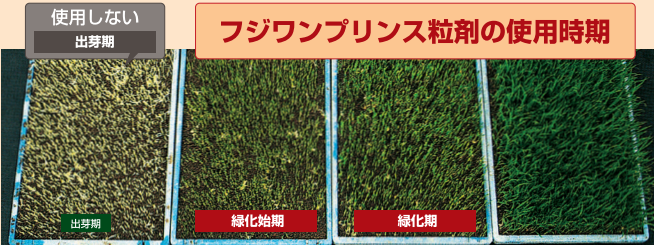
育苗箱



実は同じ
鈴木さん

だったら

これからは**緑化始期**に日農フジワンプリンス粒剤で



使用しない
出芽期

フジワンプリンス粒剤の使用時期

出芽期

緑化始期

緑化期

出芽後3~4日ぐらいて、苗が淡緑色になる時期(緑化始期)が処理適期となります。

根の伸長および発根を促進します



無処理苗

フジワンプリンス粒剤処理苗

緑化始期
処理

根の伸長および発根を促進し、
更に、稲の主要害虫・いもち病を防除！

箱からそのまま散布！
1kgで育苗箱20枚分



<写真はイメージです>

これは便利！



いい苗 作ろう フジワンプリンス

特長

- 育苗箱に処理するだけで、水稻初・中期の主要害虫であるコブノメイガ、ニカメイチュウ、ウンカ類、イネミズゾウムシ及び葉いもちを同時防除できます。
- 少ない薬量で長期間にわたり高い防除効果を示すので、省力的・経済的です。
- フジワンの根の伸長および発根促進効果により、根張りのいい健康な苗に育ちます。
- プリンスは、幅広い殺虫スペクトルを有し、かつ低薬量で高い効果を示します。さらに効果持続性に優れ、本田剤との体系により省力かつ確実な効果が期待できます。

※ツマグロヨコバイには効果がありませんので、萎縮病、黄萎病の常発地では、他の有効剤との組合せで防除してください。

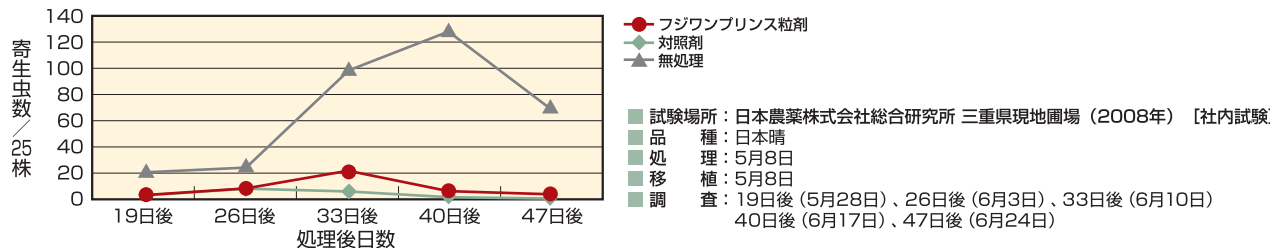
適用病害虫及び使用方法

2022年7月適用拡大

〈2022年7月現在の登録内容〉

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フィプロニルを含む農薬の総使用回数	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 ウンカ類 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ コブノメイガ ニカメイチュウ イネツトムシ イナゴ類	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	緑化期～ 移植当日	1回	育苗箱の 上から 均一に 散布する。	1回	3回以内 (移植前は1回以内、 本田では2回以内)
		高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)					
	イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植前3日 ～移植当日				
作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フィプロニルを含む農薬の総使用回数	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	根の伸長および 発根促進	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	緑化始期	1回	育苗箱の 上から 均一に 散布する。	1回	3回以内 (移植前は1回以内、 本田では2回以内)

試験成績（イネドロオウムシ）



注意事項

- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植する。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じやすいので、注意する。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきをはいていないに行い、移植後に田面が露出しないよう注意する。
- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整する。
- いもち病に対しては、移植後およそ6週間を経過すると葉いもちに対する防除効果が弱まるので、移植後の葉いもちの発生に注意し、必要に応じて本田でいもち病防除剤を追加散布する。
- フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェノバルビタール製剤の投与が有効であると報告されている。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しない。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

使用前にはラベルをよく読む。 ラベルの記載以外には使用しない。 小児の手の届く所には置かない。

LINE公式アカウントはじめました!

友だち募集中 最新情報をLINEで配信!

@nichino

NICHINO 東京都中央区
京橋1丁目
日本農薬株式会社 19番8号

TEL: 0570-09-1177 URL: <https://www.nichino.co.jp/>